
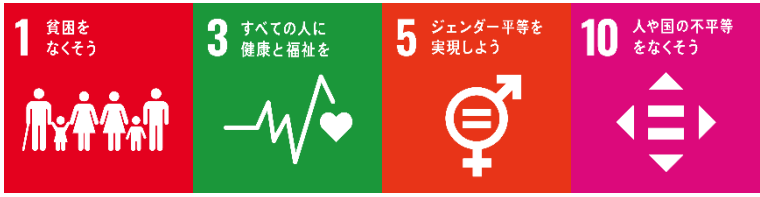


# 所沢市公民連携プラットフォーム

## 提案募集シート

### ■提案の募集内容

課題 No.	TK2312
課題タイトル	「生理の貧困」対策として、公共施設等に配備する生理用品を調達したい
課題内容	<p>経済的な理由などから生理用品を入手することが困難な状態にある「生理の貧困」を解決していくため、所沢市では担当課窓口やトイレに生理用品を配備する等の取り組みを行っています。</p> <p>「生理の貧困」は経済的理由のほかにも、羞恥心により購入に躊躇いがあることや、家族の無理解により入手できないという背景もあることから、そのような問題を解決し、生理用品が必要な市民の手に届くような仕組みづくりを進めるため、民間のネットワークやアイデア等を提供いただける事業者を募集します。</p>
補足図	<p>「【課題を解決する先進事例】 神奈川県 ○賛同企業からの広告料収入により生理用品を購入。 ○企業の社名やメッセージ等を印刷した封筒に生理用品を封入し、県内の大学へ無償配布。 ○封筒の印刷や生理用品の仕分けは障害福祉サービス事業所(作業所)に発注し、障がい者の雇用にも貢献。 ○賛同企業からの広告料の徴取や企業とのやり取り、福祉作業所への発注等はNPO法人が行う。</p> <p>「県内大学における生理用品無償配布アンケート結果」 (神奈川県いのち・未来戦略本部室SDGs連携グループ作成) より写真転載 ▼</p> 
現在の取り組み	<p>一部の出先機関において、防災備蓄やフードパントリー、市の予算措置等により調達しています。配布方法は、担当部署の窓口にて希望者からの申し出を受けて手渡ししています。</p> <p>(小中学校ではトイレ手洗い場やトイレ個室に生理用品を配備したり、保健室に配備して養護教諭が手渡しを行っている学校もあります)</p>
提案者側に期待すること	<p>可能な限り市の財政的な負担がかからない方法で生理用品を調達する方法や、生理用品の大量持ち去りを防ぐ効果的な配備方法等のアイデアやアドバイスをいただくとともに、本事業に賛同する企業と所沢市をつなぐコーディネーターとしての役割を期待します。</p> <p>※自治体の財政負担がかからない先進事例は補足図を参照</p>
現時点の予算状況	現時点で予算化の予定はありません
提案の募集期限	期限なし
目指すSDGsゴール	
問い合わせ先	<p>所沢市 経営企画課 公民連携推進室</p> <p>TEL : 04-2998-9027</p> <p>E-mail : a9027@city.tokorozawa.lg.jp</p>